

平成 25 年度 伊勢地域公共交通会議 第 1 回 議事要旨

日時：平成 25 年 6 月 12 日（水）10:00～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-2 会議室

出席者：全 12 名

市民代表 4 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長代理）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県タクシー協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署 1 名（交通第一課長代理）

三重県 1 名（三重県地域連携部交通政策課長代理）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 3 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

1. 平成 24 年度事業報告について

事務局より、平成 24 年度事業報告について、資料を用いて説明。

利用相談コーナーはいつから実施しているか。（議長）

⇒平成 23 年度から実施している。（事務局）

2. 伊勢地域公共交通会議設置要綱等の一部改正について

事務局より、伊勢地域公共交通会議設置要綱等の一部改正について、資料を用いて説明。

議案第 2 号については、事務局からの提案事項に関して承認をいただいた。

3. 生活交通ネットワーク計画の平成 26 年度認定申請について

事務局より、生活交通ネットワーク計画の平成 26 年度認定申請について、資料を用いて説明。

議案第 3 号については、事務局からの提案事項に関して承認をいただいた。

4. 平成26年度の運行に向けた検討について

事務局より、平成26年度の運行に向けた検討について、資料を用いて説明。

【昨年度からの経緯（平成25年4月1日改正点）】

御菌ルートは4月から11人乗り車両導入したとのことであるが、4月から乗れなかったことはあるか。また、経費についてはどの程度削減できたか。（三重運輸支局）

⇒4月の導入後乗れなかったことはない。これにより、約100万円の経費が削減できた。
（事務局）

御菌ルートは一部ダイヤを変更とのことであるが、内容はどのようなものか。（市民代表）

⇒11人乗り車両を導入したことにより、車両を御菌ルート専用で走らせることとなった。このことにより、乗務員の休憩時間の確保等のため、運行ルートは変更せず、時刻のみ変更した。
（事務局）

【平成24年度の路線評価】

24年度実績を23年度実績と比較しているが、平成23年8月にデマンド運行が導入されたことにより、23年度実績は7月分までがバスで、8月分からデマンドとなっている。8月分以降のデマンド部分だけを比較できないか。（一般旅客自動車運送事業者）

⇒可能である。次回会議でお示ししたい。（事務局）

前年度実績と比較して伸びている要因と減っている要因を教えてください。
（三重運輸支局）

⇒辻久留・藤里ルートの増加・・・平成24年度から半便増えたことと、総合的な増による。

東大淀・日赤ルートの増加・・・日赤の移転によりルート変更。日赤付近にあるショッピングセンターへの利用もあり、目的地が増えたことによる増。

明野ルートの減少・・・高齢者の利用が多く、利用に波がある。利用促進を行いたい。

御菌ルートの増加・・・当初から少しずつ増えているルートである。また、新しい日赤への乗り入れによる。

二見ルートの減少・・・年度により増えたり減ったりしているルートであり、今回は270人程度減少した。

デマンド運行ルートの減少・・・23年度は8月からデマンド運行を導入した。もう少し利用していただきたいルートである。小木・田尻ルートは増えている。利用促進を行えば更に増える。粟野ルート、湯田・新村・元町ルートは増えにくいと考えており、地域の老人会等に利用促進を行いたい。（事務局）

デマンドルートの運行については、利用者増となるよう、利用していただきやすいように、できるだけニーズに沿っていけるように取り組んでいきたい。
(一般旅客自動車運送事業者)

御菌ルートは旧日赤病院へ運行しているのか。今後ルート変更はあるか。新高付近は高齢化率が高く、独居老人が多い地域である。ルート変更でバス停が無くなると不便になる。
(市民代表)

⇒旧日赤病院付近では、東大淀・日赤ルートの宮町駅東口のバス停があり、新しい日赤等へ行ける。御菌ルートはルートが長いので再編を考えている。病院跡地活用の具体化してきたら、あわせて進めたい。(事務局)

【本年度の実施・検討内容】

沼木地区で自主運行バスの導入が検討されているが、宇治地区は路線バスが走っており、おかげバスは走っていないが、高麗広や滝倉団地の上の方は、近くにバス停が無いことにより困っているため、解決に向けて研究が必要。(市民代表)

国はコミュニティバス導入にあたりルールを定めているが、競争により路線バスが無くなってしまわないよう等、利用者が困らないようにするものである。交通不便地域の指定を受けた場合、補助が出ることもある。(三重運輸支局)

⇒沼木地区自主運行バスの導入にあたっては、市内連絡用は路線バスに接続する等、路線バスの利用促進につながるよう取り組んでいる。この事例がうまくまわっていくか、他の地域に応用できるかを検証していきたい。宇治地区の件は、地元から話は伺った。(事務局)

総合時刻表はどのように配布するのか。私の世代は文字のサイズが小さいと厳しい。見本の総合時刻表は、携帯には便利であるが、若い人にターゲットを絞っているのかと思う。
(市民代表)

⇒総合時刻表の配布については、広報いせと同時配布、ショッピングセンター、駅等への配置を考えている。レイアウトはよく検討したい。(事務局)

配布時期はいつ頃の予定か。鉄道のダイヤ改正は3月頃で、バスは、鉄道が出てからの4月頃となる。(一般乗合旅客自動車運送事業者)

⇒総合時刻表の配布時期については、平成26年3月下旬を予定している。バス、鉄道の事業者と調整して進めたい。(事務局)

デマンドルートは区域毎に時刻設定した運行方法について教えていただきたい。
(一般旅客自動車運送事業者)

⇒デマンド運行の利便性向上のため、検討している運行方法であり、導入にあたっては委託先と十分調整しながら進めたい。(事務局)